

# 一緒に学んで行動「目標やりきれる」

1/28 家族



署名をよびかけて対話する(右から)國雄さん、ルミさん、春香さん=16日、大阪市

# 戦争法廃止へ家族でゴ—

大阪府中央区の向山國雄さん(42)、妻のルミさん(42)、娘の春香さん(20)は3人で2000人の「戦争法廃止を求める2000万署名」を集めようと連日、いっしょに行動しています。

(大阪府・小浜明代)

広げよう  
2000万署名

大阪の向山さん

家族そろっての行動をスタートさせたのは年末も押し迫った12月29日。行動し

2000万署名 2000万人を目標に全国で取り組まれている「戦争法の廃止を求める統一署名」。請願事項は「①戦争法である『平和安全保障法』をすみやかに廃止してください②立憲主義の原則を堅持し、憲法9条を守り、いかしてください」。請願先は首相と衆参両院の議長。総がかり行動実行委員会をはじめ、首都圏反原発連合、SEALDs(シールズ)など29の団体、グループが共同で呼びかけています。

全国で多彩に④⑤面

「めげるときもあるけれど、人が殺し、殺される国にしたくないし、ことわる方が多いのは覚悟で声

なかつたのは大みそかから1月2日までの3日間だけです。毎日、それぞれの予定をきき合わせ、場所と時間を相談。どこへでも自転車で移動し、行動後も家族会議を開き、署名数だけでなく対話数と経験も出し合っています。

ルミさんと春香さんは手作りの署名板に戦時中の召集令状をコピーした「赤紙」などを添えて声をかけます。これまでに公園や繁華街、9条の会のパレードの前夜、知人に会いに行ったりマンション前など行動場所はさまざま。バス待ちや信号待ちの人はもちろん、駐輪場で働く人に署名してもらったこともあります。

一方、56人と対話してゼロの日も。「安保法制は賛成」「安倍さん(首相)は戦争しないと言っている」と言われたこともあります。

「めげるときもあるけれど、人が殺し、殺される国にしたくないし、ことわる方が多いのは覚悟で声をかけています。だから署名してもらったらすごくうれしい」と春香さん。國雄さんは「家族の姿を見たらまた頑張ろうと思えます。答えられへんかったことは家族で勉強します。家族仲間でもありライブでもあつてい

るんです」。3人はともに戦争法案廃案のたたかいの真つたた中の昨年夏、相次いで日本共産党に入党しました。先に入党したのは病気をして弱者への政治の冷たさを実感していた國雄さんです。「人が死ぬかもしれないのに戦争する国にしようとする安倍さんは間違っている」と自ら日本共産党大阪中央地区委員会に足を運び、その後、入党しました。大きく変わったのは人と話すのが苦手だった春香さんです。「覚って何?っていつくらい政治に無関心でした。お父さんや共産党の人から政治の話聞いて、安倍さんも維新の橋下さんも国民や府民をごまかしているって思いました。自分たちで政治を変えないといけないと思うようになりました」と、はにかみながら話します。

18日までで署名は250人、対話は630人のほります。「僕らは3人で1セット。そのときは署名してもらえなくても声をかけることが大事だと思っています。4月末までに2000人はやれると思つし、やりま